

## 県外派遣報告書

審判員名	堀口 拳	所属	U18西部
大会名	令和7年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会		
期間	2025年7月27日(日)～8月1日(金)		
会場	ジップアリーナ岡山		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
7月22日(火)	審判会議、研修会	ZOOM会議 自宅他	
7月27日(日)	男女1回戦	ジップアリーナ岡山	
7月28日(月)	男女2回戦	ジップアリーナ岡山	
7月29日(火)	男女3回戦	ジップアリーナ岡山	
会議 講義 内容			
<p>(1)挨拶            ○日本バスケットボール協会 審判委員長 前田喜庸 様            ○一般社団法人岡山県バスケットボール協会 審判委員長 前花直哉 様            (2)IH担当講師紹介・研修会のテーマ設定            ○一般社団法人愛知県バスケットボール協会 塩谷禎 S 級審判員 様</p> <p>【方向性と課題】            ①ベーシックなメカニクス            ②シンプルなプレイコーリング            ③処置ミスゼロを目指した、TO・クロック管理</p> <p>【トピック】            ・トラベリング            ・ショットの見極め            →シュータープロテクトシュート、怪我の防止            →ペイシエントんどケイデンス            ・シリンダーファウル</p> <p>【テーマ設定の背景】            ・外国人選手の起用(約3チームに1チーム)            ・小柄な選手の活躍も顕著            ・処置ミス事例            →蓄積と振り返り→同じミスを繰り返さない(チームは覚えている)            ※審判だけが知らないということは避ける            ・プレカンの重要性の確認</p> <p>(3)研修①「ビッグマンに対するコンタクトの理解とポイント」            ○一般財団法人愛媛県バスケットボール協会 堀内純 S 級審判員 様            ▶ビッグマンに対するコンタクト            ・高さ、ミスマッチ、スクリーン、ポストアップ、ポジション争い、リバウンド            ・シンプルなプレーコーリングが大切(イリーガルなコンタクトをシンプルに)            ・そのためのレフェリーディフェンス、メカニクス</p> <p>(4)研修②「IHテーマの振り返りと処置ミスの事例」            ○一般財団法人神奈川県バスケットボール協会 村上恵美 S 級審判員 様            ▶処置ミスゼロを目指して            ・TOミーティングの重要性            ・クルーの様子や表情            ・同時刻入退場の可能性            ・もしかして、かもしれない の視点が大切</p> <p>(5)研修③「本大会に向けたプレゲームカンファレンス」            ○一般社団法人茨城県バスケットボール協会 一色渉 S 級審判員 様            ▶クルーミッション            ・ゲーム中どの時間でもREFにコントロールされている状況を作りたい            →知っているということから始まる(awareness)            →ベーシックなメカニクス            →プレイコーリング(コール・ザ・オピマス-インパクト)            ・見たものを信じてコツコツとコール            ・アングルの確保とポジションアジャスト            ・エッジの見方の共有            ・起こる可能性のあるトラブルの共有</p> <p>(6)研修のまとめ、行動規範・共有事項確認</p> <p>(7)連絡事項            ・試合運営についての確認事項(チーム伝達事項)            ・各係からの連絡(会場・輸送・宿泊・総務・その他)</p>			

担当試合①						
担当試合	期 日	2025年7月27日(日)	男子	女子	男子1回戦	
	対戦カード	佐賀北(佐賀)	VS	報徳学園(兵庫)	CC	U1 U2
	相手審判	CC:堀口拳 U1:中野嗣久氏(東京) U2:久田雄也氏(岡山)				
ミーティング内容 主任 皆川義紀氏(広島)						
<p>ゲーム前のPGC</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム情報共有</li> <li>・ビッグマンに対するコンタクトについて</li> <li>・エッジの見方</li> <li>・HDのプライマリー</li> <li>・プレイコーリングについて(プロテストシュート、RBコンタクト、シリンダーなど)</li> <li>・処置ミスゼロに向けたクロック管理について</li> </ul> <p>ゲーム後のミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「たられば」を考えてみる</li> <li>→もしもあのとき吹いていたらどうなっていたらだろうか、を考える。それが次につながる</li> <li>・選手の主張や抗議を正対して聞く場面と、目だけ合わせてゲームを進行させる場面を分けていく</li> </ul>						
担当試合②						
担当試合	期 日	2025年7月28日(月)	男子	女子	男子2回戦	
	対戦カード	光泉カトリック(滋賀)	VS	帝京長岡(新潟)	CC	U1 U2
	相手審判	CC:堀口拳 U1:土江翔平氏(島根) U2:石黒俊(東京)				
ミーティング内容 主任 松本究氏(佐賀)						
<p>ゲーム前のPGC</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム情報共有</li> <li>・ビッグマンに対するコンタクトについて</li> <li>・エッジの見方</li> <li>・HDのプライマリー</li> <li>・プレイコーリングについて(プロテストシュート、RBコンタクト、シリンダーなど)</li> <li>・処置ミスゼロに向けたクロック管理について</li> </ul> <p>ゲーム後のミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クルーで協力してゲームが運営できていた</li> <li>・セカンダリーのときにもう少しケイデンスできるとよい</li> <li>・トラベリングは吹いたものを映像で確認</li> </ul>						
担当試合③						
担当試合	期 日	2025年7月29日(火)	男子	女子	女子3回戦	
	対戦カード	京都精華学園(京都)	VS	慶誠(熊本)	CC	U1 U2
	相手審判	CC:皆川義紀氏(広島) U1:堀口拳 U2:濱本淳子氏(岡山)				
ミーティング内容 主任						
<p>ゲーム前のミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つかむや叩くを早めにコール</li> <li>・リバウンドの後のたかりに注意</li> <li>・留学生には必ず誰かが目を当てる</li> <li>・Cサイドの高い位置でのプレッシャー</li> <li>→一時的なダブルトレイルもOK</li> </ul> <p>ゲーム終了後のミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スムーズなゲーム運営ができた</li> <li>・ショットクロックの訂正などクルーで協力できた</li> <li>・ゲームの流れからもう少し影響を見てから吹いてよいケースがあった</li> <li>・ベンチの声に対する対応をもっとスムーズに行いたい</li> </ul>						
全体の感想						
<p>初めてのインターハイ派遣となりました。本大会では、男子1,2回戦、女子3回戦の計3試合を担当させていただきました。全国大会という舞台でコートに立つことができたこと、非常に嬉しく思います。1,2回戦ではクルーチーフを担当し、初めて一緒に吹く方とのコミュニケーションの取り方や、方向性の合わせ方など、試合に入る前の面でも大きな学びになりました。試合の中では、クルーで協力して大きな問題なくスムーズにゲームを進行することができました。その中でも、うまくいったこと、いかなかったことをきちんと整理し、今後の活動に繋げていきます。</p> <p>また、この期間で多くの審判員の皆様と一緒に試合を見させていただき、お話を聞くことができました。お話の中で学ばせていただいたことはもちろんのこと、こういった繋がりが審判活動において非常に大切なことだと感じました。オフコートの時間も有意義に過ごすことができました。</p> <p>最後になりますが、この度ご派遣いただきました埼玉県審判委員長眞榮喜様、大会期間運営にご尽力いただきました岡山県バスケットボール協会の皆様、審判担当の塩谷様をはじめとした審判員の皆様、割当クルーやTO役員、その他大会に関係するすべての皆様に改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。</p>						